

再評価結果（平成27年度事業継続箇所）

担当課： 道路局高速道路課

担当課長名： 吉岡 幹夫

事業名	中部横断自動車道 ろくごう ますほ (六郷～増穂)		事業区分	高速自動車国道	事業主体	中日本高速道路(株)
起終点	自) 山梨県西八代郡市川三郷町宮原 やつしろ いちかわみさと みやはら 至) 山梨県南巨摩郡富士川町大櫛 みなみこま ふじかわ おおくぬぎ			延長	10km	
事業概要	中部横断自動車道は静岡・山梨・長野3県を最短ルートで結ぶとともに、東名・中央・上信越自動車道とネットワークを形成することにより、沿線地域の産業・経済・文化・観光等の発展及び振興に資する路線である。					
H11年度事業化	H8年度都市計画決定		H19年度用地着手		H19年度工事着手	
全体事業費	約670億円		事業進捗率	25%	供用済延長	0km
計画交通量	7,900台/日					
費用対効果 分析結果	B/C	総費用 (残事業)/(事業全体)		総便益 (残事業)/(事業全体)		基準年
	(事業全体) 1.2 (残事業) 2.0	419/685億円 〔事業費：356/623億円 維持管理費：62/62億円〕		829/829億円 〔走行時間短縮便益：666/666億円 走行費用減少便益：125/125億円 交通事故減少便益：37/37億円〕		平成26年
感度分析の結果	残事業について感度分析を実施					
交通量変動	: B/C=1.8~2.2 (交通量 ±10%)					
事業費変動	: B/C=1.8~2.2 (事業費 ±10%)					
事業期間変動	: B/C=1.9~2.0 (事業期間 ±1年)					
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・国土・地域ネットワークの構築（当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構築する） ・個性ある地域の形成（IC等からのアクセスが向上する主要な観光地が存在する） ・安全で安心できるくらしの確保（三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる） <p style="text-align: right;">他16項目に該当</p>					
関係する地方公共団体等の意見	<p>＜静岡県＞中部横断自動車道は、東名・新東名と一体となって広域的な高速道路網を構築し、沿線地域の産業、経済、文化、観光などの振興と活性化に貢献するとともに、静岡県と山梨県を結ぶ南北方向の交通機能を確保することで、予想される富士山噴火や南海トラフ巨大地震等の災害発生時には、代替路及び緊急輸送路としての役割を果たす極めて重要な道路である。</p> <p>今後、新東名高速道路から中央自動車道までが、平成29年度に確実につながるよう本区間の事業推進をお願いしたい。</p> <p>＜静岡市＞静岡県中部地域において、中部横断自動車道は南北軸を担うこととなりますが、現在、主に南北軸の交通を支えている国道52号は一部に事前通行規制区間が存在します。本年10月6日に県内を横断した台風18号の際にも、一部区間が通行止めとなりましたが、異常気象時に備えた災害に強い道路として中部横断自動車道の早期全線開通が期待されています。</p> <p>中部横断自動車道は、関東大連携構想の一翼も担っており、本市のみならず日本の物流や経済活動、地域交流や観光産業に与える影響は大きく、各界からも早期完成を望む声が届いております。</p> <p>現在事業を進めている区間の完成予定時期に向けた着実な整備推進を希望するとともに、地域住民の切なる願いに応じていただきますようお願い申し上げます。</p> <p>＜山梨県＞中部横断自動車道の新清水JCT～富沢間及び増穂～六郷間は、高規格幹線道路網計画のミッシングリンクとなっており、当該区間の整備は本県の切なる願いである。</p> <p>当該区間の整備により、日本海及び太平洋の臨海地域と本県との連携が強化され、清水港等の活用による海外との物流の促進や広域的観光の振興による本県経済の発展が促される。</p> <p>また、先の東日本大震災では、高速道路が、救助や緊急輸送路の基軸として、多大な効果を発揮することが改めて認識されたところであり、東海・東南海地震や富士山噴火などによる重大な災害の発生が危惧されている昨今において、中部横断自動車道は、広域的防災体制を強化するとともに、緊急輸送路としての役割を担うなど、防災、住民の安心安全に不可欠な「命の道」となる。</p> <p>本県の政策には、当該事業の進捗に併せて進めている項目も多いことから、計画どおり本事業を継続するとともに、増穂～六郷間の平成28年度完成、新清水JCT～富沢間の平成29年度完成を切にお願いしたい。</p>					
事業評価監視委員会の意見	対応方針（原案）のとおり了承。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> ・甲府市から静岡市間の所要時間は国道52号を利用した場合、140分を要している。 ・隣接する富沢～六郷間は、新直轄として整備中。 					
事業の進捗状況、残事業の内容等	工事実施中					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	今後も引き続き用地取得の推進を図るとともに順次工事に着手する予定。					

施設の構造や工法の変更等

新技術・新工法や現地の状況変化も確認しながら積極的にコスト縮減を図っていく。

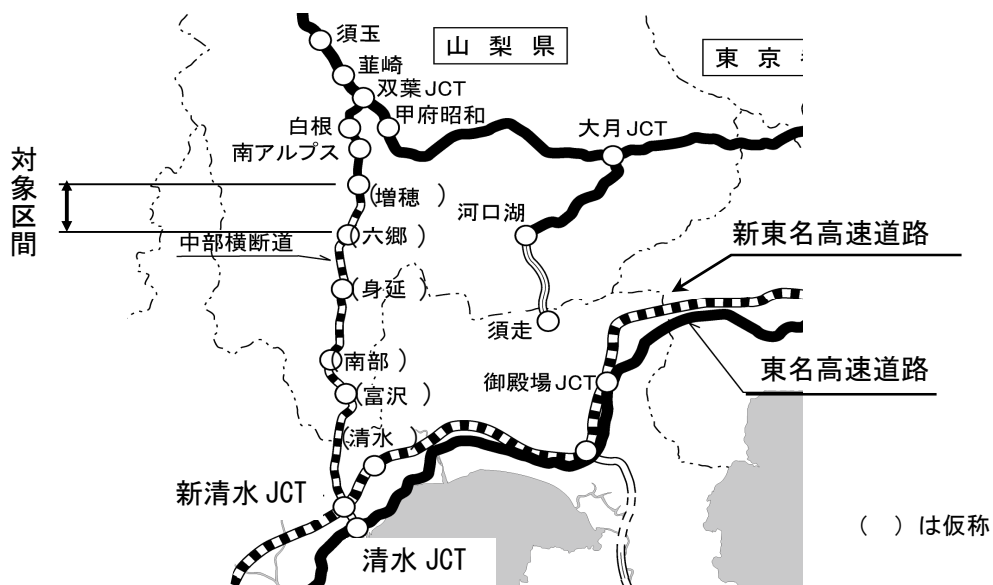
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。